

万代にぎわい創造株式会社 事務局長 ふじもと あきふみ
藤本 暁史 氏

新たな魅力を発信するピア Bandai。 幅広い客層が楽しめる施設へ



PROFILE

1988年生まれ、埼玉県川越市出身。高校を卒業後、軽井沢プリンスホテルに就職。その後、グループ会社・西武鉄道の駅員を経て、芸能プロダクションのマネージャー業務に就く。2019年10月、妻の実家がある新潟市に移住。1ターンの相談先で、万代にぎわい創造（株）役員、「（株）鈴木コーヒー」の佐藤社長を紹介され、同年12月万代にぎわい創造株式会社に入社。

10周年を契機にリニューアルされたピア Bandai では、これまでにない空間づくりやイベントが行われ、新たな賑わいが生まれています。リニューアルの経緯や今後の展望などについて、ピア Bandai を運営する万代にぎわい創造株式会社の藤本さんに伺いました。



万代にぎわい創造株式会社
ピア Bandai にぎわい事業協同組合
〒950-0078
新潟市中央区万代島2
TEL : 025-249-2560
<https://www.bandai-nigiwai.jp/>



同じことを続けていると、いつかは飽きられてしまいます。常に危機感を持ち、変化していくことの大切さを伝えていきたいです

次の10年に向けてリニューアル。 店舗の若手後継者がチームを結成

「にいがたの台所」をコンセプトに、観光振興と物産振興の両面を併せ持つ複合施設として2010年にオープンしたピアBandaiは、10周年を契機にリニューアルを実施。新たな魅力発信に力を入れている。「今回のリニューアルはピアBandaiに出店する各店舗の若手後継者がチームを結成し、プロジェクトを進めました。これまで年配のお客が多く、いかに若い世代に利用してもらうかが課題となっていたので、新しい目線で次の10年に向けた計画を立てることにしたのです」と、事務局としてプロジェクトに参加した藤本さんは語る。

イベントの企画・開催に注力。 施設全体を楽しむ場所にしたい

リニューアルの目玉となったのが、施設の中央部に設けられた「ピーカンテラス」だ。ハンギングパラソルを設置した開放感のある広場で、本格的なBBQを楽しむことができる他、イベントスペースとしても活用。朝市や夜市、ヨガ、ジャズライブ、夏祭りなど、幅広い年代の人が参加できるイベントを開催している。「イベントに力を入れるようになったことも大きな変化です。当施設は個々の店舗を目的に来られるお客様がほとんどなので、イベントをきっかけに普段から“ピアBandaiに行こう”と思ってもらえる施設になれば、お客様の層も変わるはず。実際に最近は若い方たちも来てくれるようになってきました」。

また、施設全体のイベントだけでなく、これまで店舗ごとに行っていたイベントなども「バラバラに行うのはもったいない。今後はピアBandaiとして一緒に何かできれば」と藤本さん。さらに、商品の魅力も店



開放感のある「ピーカンテラス」の1階席。ハンギングパラソルや、人気の高いSnow peakの椅子とテーブルを導入するなど、若者やファミリー層が利用したくなるような空間づくりを意識したという。

舗個々では伝えきれていない面があったことから、現在は事務局が情報を集約しSNSなどで発信している。

新潟市民の市場であることが 観光客にとっての魅力ポイント

ピアBandaiは県外からの観光客も多いが、「新潟市民が普段から利用している施設なので、観光客も商品の価格面などに安心感を持つようです」と話すように、単なる観光施設ではなく「市民市場」であるということが、魅力を感じるポイントになっているという。

「2030年までに1年間の来場者数を150万人、売上を30億円にするのが目標です。今後は夜間の利用者を増やしていくためにも、夜市などのイベントを積極的に開催していきます。そして、運営側としては常に新しい発信をすることを大切にしていきたい。店舗の若手後継者の方々にも“現状に満足せず、もっと上を目指していこう”という話をしています」と藤本さん。次の10年に向けて、どのようなピアBandaiに進化していくのか楽しみだ。



“食と音楽”をコンセプトにした夜市「星空Market」を定期的開催。ライトアップされた会場ではジャズバンドによるライブが行われ、イベント限定の飲食店も出店するなど、夜のピアBandaiを楽しむことができる。